

陸自オスプレイV-22の飛行訓練実施について

このことについて、防衛省北関東防衛局から、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

記

○ 情報提供内容（令和4年9月6日付）

(1) 陸自オスプレイV-22の飛行訓練実施について

陸上自衛隊のオスプレイについて、防衛省では、確認的に操縦士への教育やクラッチの機能確認等の点検を行って、安全に万全を期した上で、順次、飛行訓練を実施することとしておりました。

その際、暫定配備先である木更津市に対しては、防衛省としての考え方を丁寧に説明させていただくことが重要と考え、順次説明させていただいてきたところです。

今般、これらの状況を踏まえ、9月7日以降に順次飛行することとしたところです。

(2) 陸自オスプレイV-22と米空軍オスプレイCV-22の飛行再開との関連について

防衛省としては、そもそも、オスプレイの飛行を一律に見合わせるべき機体の安全性に係る技術的課題は存在しないこと、クラッチを原因とする特有の現象に対しても安全に運用するために米軍が確立した手順について、陸上自衛隊においても着実に教育・訓練を実施していること、陸自オスプレイについては、クラッチを原因とする特有の現象も起きたことはなく、さらに、確認的に操縦士への教育やクラッチの機能確認等の点検を行ったこと等から、順次、飛行訓練を実施することとしておりました。

したがって、CV-22の飛行再開を待っていたとの事実はありません。